

国労本部電送No.199	発信日	発信	責任者	受領者
	2020年3月5日	企画部		

闘争指示第55号

2020年3月5日

エリア本部
各 闘争委員長 殿
地方本部

国鉄労働組合
中央闘争委員長 松川 聡

2020年春闘回答指定日に向けた闘いの展開について

国労は、2020年春闘要求獲得に向け、去る2月12日、各社一斉に「2020年度新賃金要求」及び「労働条件改善要求」について申し入れ、ストライキを背景に態勢を確立しながら、要求実現に向けて団体交渉を粘り強く継続し、戦術をめぐっては、第190回拡大中央委員会決定を踏まえながら、中央戦術委員会での議論を重ね、闘いに全力を傾注してきた。

とりもなおさず、2020年春闘の課題は、実質賃金が改善しないなかで、非正規社員を含む全ての労働者の賃金引き上げと国労組織の拡大を図ることにある。

今春闘は、平和憲法の改悪を目論み、沖縄県民の民意を圧殺して辺野古新基地建設を強行する安倍政権の暴走政治と対峙して、基地撤去、脱原発、民主主義擁護など山積する国民的課題と結合して闘うことが問われている。

国労は2020年春闘の取り組みの中心にJRの安全・安定輸送の確立と職場における労働条件改善を据えながら、18年連続ベアなしのJR北海道・四国会社の有額回答を求めながら、非正規雇用労働者の処遇改善をはじめ、すべての働く者の「格差是正」と暮らしの「底上げ」を求め、不退転の決意で取り組みに全力をあげてきたが、この間、各級機関からも本部に多くの激励や檄が寄せられている。

とりわけ、この間、「新型コロナウイルス」の流行という厳しい局面のもとで未然の集団感染予防のため、交運労協春闘総決起集会や国労中央総決起集会をはじめ、中央・地方において一連の春闘行動の中止を余儀なくされた。

しかしながら、「2020年春闘アピール」に示した決意のもとで取り組まれた3月3日の各政党・国会議員への要請行動を通じて喫緊の課題であるJR北海道・四国・貨物への恒久的支援策の確立およびJR九州への経営支援策の継続、安全・安定輸送確立のための抜本的対策、地方交通線の維持・存続・活性化など持続可能な総合交通政策の実現に向けて立憲野党や関係議員に対する働きかけを強め、

国労の取り組みについて一層の理解を得ることができた。

また、この間、貨物職場において 11,000 円の新賃金引き上げをはじめとした要求前進に向け、他労組組合員にも大胆に呼びかけて取り組んできた 1,216 筆分の「社員の切実な要求の実現をめざす署名」を同じく 3 月 3 日に貨物会社本社に提出するなど国労の底力を大きくアピールすることもできた。

さらに 2020 年春闘と結合した組織拡大・全国統一行動の取り組みにおいても、東日本会社内では、組合員をないがしろにして内部抗争に明け暮れてきた J R 東労組が瓦解・分裂し、過半数労働組合が消滅するなかで行なわれた事業場別の社員代表選挙において、昨年度以降、国労所属の安全衛生委員が選出されるなど職場に依拠した国労運動に対する他労組や未加入の仲間からの信頼が一段と高まり、各地から組織拡大に結実した動きも報告されている。

中央執行委員会は、こうした成果のうえに、2020 年春闘勝利に向け、この間の闘いの到達点について確認し、大幅賃上げ獲得を目標としながら、各エリアにおける交渉や取り組みを調整し、J R 産別として統一した闘いを指導する本部の責務を果たすことを意思統一した。

中央執行委員会は、不退転の決意をもってみずからがこの闘いの先頭に立つことを内外に明らかにすると共に、さらに全機関は回答指定日までの残された間、全社共に有額回答を引き出すため、組織の持てる力を最大限発揮して引き続き粘り強い交渉を軸とした運動を積極果敢に展開するとともに、職場から組合員が主体となった春闘を構築し、最大かつ喫緊の課題である組織拡大に全力をあげて奮起することを要請する。

その上に立って、以下の通り、2020 年春闘勝利に向けた闘いを強化することを指示するので、各級機関は万全の闘争体制の確立をはかること。

《闘争指示》

1. 各エリア本部は 3 月 13 日（金）を基本とした回答指定日に向けて団体交渉を最大限強化して職場から春闘を積み上げながら、要求実現に向けた取り組みを強化すること。
2. 各級機関は有額回答を引き出すために、ベア・ゼロを許さず、客貨・グループ会社で働く仲間が共に一体となった国労運動を強化し、コロナウイルス集団感染予防のため、最大限の注意喚起と万全の対策を講じながら職場集会や学習会等を通じて分会活動の活性化を図ると共に、一枚岩の強固な団結を固め、組織強化・拡大に全力をあげること。
3. 他産別や単産の仲間との共闘・連帯を強め、グループ会社の賃金・労働条件改善や非正規社員やパートタイム・派遣労働者の正社員化など格差是正の取り組みと地域春闘を活性化させるために全力を傾注すること。

以 上